

地域計画

策定年月日	令和7年 月 日 ()
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	北九州市 (401005)
地域名 (地域内農業集落名)	原地区 (原集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	9.21 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	9.21 ha
② 田の面積	9.21 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	5.66 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	3.55 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	0 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・地域農業を支える農業従事者の高齢化が進行しており、後継者がいない経営体も多い。加えて地域の担い手となる経営体が不在で、農地の集約化が難しく、担い手の育成と確保が必要。
- ・高齢化に伴い耕作放棄地が増加する懸念がある。そこで品目の見直しや栽培方法の効率化を図り、地域の高齢化に対応した農業を検討していく必要がある。
- ・害獣被害が深刻であり、効果的な対策が必要。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・数年後に引退する経営体から今後10年先まで農業を継続する経営体に農地の集約化を図る。そこで、集約化する経営体の検討を集落で行うとともに、共同作業を通じた維持管理を目指す。
- ・高齢化が進行し担い手不足が懸念されるため、地域外など新たな担い手の確保に向けた検討を行う。
- ・野菜や果樹等の稲作以外の品目を検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手(認定農業者、法人経営体)への農地の集積・集約化を進めることを基本としつつ、当面、営農継続の意向の経営体による農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0 %	将来の目標とする集積率	0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現状では、認定農業者や認定新規就農者等の担い手による集約化が困難である。当面は集落内で担い手を育成すべく農業後継者等への集約化を目指し、さらに集落外部から新たな担い手を確保するよう努める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
当面は集落内で営農継続する経営体による農地の集積・集約化を進め、今後は市、県、農業委員会、JAと協力しながら集落外からの規模拡大意向の経営体や新規就農者などの担い手への農地の集積を検討していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
未定
(3)基盤整備事業への取組
未定
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域外から多様な経営体を迎えるなど市、県及びJAと連携を図り、担い手を確保していく取組を行う。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
未定

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等)づくりや、連絡網の整備・侵入防止柵の設置状況確認に取り組む。
- ⑤地域に適した果樹等の栽培品目並びに品種の検討を行う。
- ⑦定期的な除草の実施による耕作放棄地の発生防止に取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	1	田	0.4755ha		田	0.4755ha			
	2	田	0.3212ha						
利用者	3	田	0.4460ha		田	0.4460ha			
利用者	4	田	0.5567ha		田	0.5567ha			
	5	田	0.4698ha						
	6	田	0.1880ha						
	7	田	0.5806ha						
利用者	8	田	0.5646ha		田	0.5646ha			
	9	田	0.4549ha						
利用者	10	田	0.5527ha		田	0.5527ha			
利用者	11	田	0.3570ha		田	0.3570ha			
	12	田	0.4098ha						
	13	田	0.2286ha						
	14	田	0.9892ha						
	15	田	0.5419ha						
利用者	16	田	0.1388ha		田	0.1388ha			
利用者	17	田	0.2163ha		田	0.2163ha			
利用者	18	田	0.2536ha		田	0.2536ha			
利用者	19	田	0.5436ha		田	0.5436ha			
	20	田	0.3893ha						
	21	田	0.3856ha						
	22	田	0.1518ha						
計			9.2155ha			3.5521ha			

